

茶 新茶初摘み・栄西弾師供養祭・新茶初取引 園が鮮やかな萌黄色に染まる 新茶シーズン到来！



1 今年最初の新茶を一つひとつ丁寧に摘み取る 2 先人たちの功労に感謝し、今年度の茶業の発展を祈る 3 茶の香りを真剣に吟味 4 威勢良く手を打つ音が響き渡り、商談が成立

今年も新茶シーズンを迎え、市内でお茶に関する行事が行われました。

4月4日、菊川茶手揉保存会の宮城孝雄さん宅のビニールハウス茶園で茶業関係者や菊川茶娘・茶公士などおよそ15人が、今年初めての新茶の手摘みをしました。(写真1)

4月7日、菊川公園で「栄西弾師並びに市内茶業先覚者供養祭」が開催されました。茶業関係者らおよそ40人が、先人の功労と今年の茶業の盛況を祈願しました。(写真2)

4月21日、JA遠州夢咲茶業振興センターで新茶初取引が行われ、新茶シーズンの到来を祝いました。JA職員や茶商が新茶の品質を吟味し、生産者へそろばんで金額を掲示すると、威勢良く手を打つ音が会場に鳴り響き、商談が成立しました。

(写真3 4)

市職員も法被を着用して「お茶のまち菊川」を盛り上げます！



堂 菊川市スポーツ少年団結団式 々と目標や決意を宣言

4月3日、文化会館アエルで令和7年度菊川市スポーツ少年団結団式および令和6年度県スポーツ少年団優秀指導者表彰が開催されました。市スポーツ少年団の19団体、およそ430人が参加。各団体の代表者が、ステージに立ち、「チームで全国大会出場を目指します」「技術を向上させながら仲間と楽しく練習に励みます」など、それぞれの目標を大きな声で発表すると、代表者の声に合わせて、会場の団員たちも声を上げ、今年一年の決意を力強く宣言しました。



1 2 会場の仲間とともに堂々と目標や決意を宣言

幻 せんがまちあぜ道アート2025 想的な光と自然のアート

3月29日、上倉沢せんがまちの棚田で、「あぜ道アート2025」が開催されました。棚田のオーナーや協力企業、地域住民、一般客らおよそ250人が来場。点灯開始時刻になると、棚田の最上部にある鐘が打ち鳴らされ、静岡大学棚田研究会の部員がペットボトルを再利用して制作したおよそ1,000本の灯籠に一つずつ灯りがともされました。来場者は、揺らめく灯りを眺めたり、写真を撮ったりしながら、棚田に広がる一夜限りの幻想的な光景を堪能しました。



1 無数の光が棚田を照らし出す 2 火をともし参加者